

事業計画書

基本目標

山口市から管理運営の指定を受ける山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて各施設の持つ特性を生かしながら、さまざまな文化に触れる機会、参加する機会などを提供する企画事業を実施し、山口市における文化振興の一翼として、文化を育むまちづくりに寄与するよう努める。

基本方針

市民自らが多様な文化活動へ参加し、芸術文化を享受できる文化環境づくりを目指し、鑑賞、参加型及び創造型の企画事業を展開するとともに、広く文化に関する情報を収集し提供する。また、市民の自主的かつ創造的な文化活動を促進、支援するための事業を行う。

なお、これらの事業を実施するにあたって、単年度計画に基づく事業計画の策定及び事業の実施という形態のみでなく、長期的視点からの事業計画や新たな発想による事業展開をめざすとともに、これに基づく具体事業の年次的実施による事業内容の充実に向けた取り組みを推進する。

個別事業計画

寄附行為第4条に掲げる6事業のうち、企画事業、育成・支援事業、調査研究事業及び情報収集・提供事業については、以下のとおりとする。

1 企画事業

当財団が所管する山口市市民会館、中原中也記念館及び山口情報芸術センターにおいて、各施設の持つ特性を生かしながら文化振興に関する各種企画事業を実施し、文化に触れる機会、参加する機会などの拡充を図るとともに、事務局においては、幅広い市民の皆様が楽しめる娯楽性の高い事業の企画展開を図る。

(1) 山口市市民会館

自主事業の推進母体として市民会館とともに歩んできた「やまぐち市民文化の会」との共催により、市民参加型のコンサート、伝統文化をベースにした演劇の上演を開催し、市民に多様な芸術文化の鑑賞機会を提供する。

(2) 中原中也記念館

中原中也を軸として、その軌跡や親交のあった人物を紹介する常設テーマ展や企画展、特別企画展を実施するとともに、中也の人と作品を分かりやすく解説し、理解を深める一助として、講演会や学芸担当職員による読書会を開催する。また、中也が好んだ朗読を通じて市民参加型イベント「生誕祭」を実施する。

(3) 事務局

山口市民会館等、市内の文化施設を活用し、広域的かつ幅広い年齢層を対象にしたクラシック音楽、ポピュラー音楽などのコンサート、舞台芸術などの公演を実施する。

(4) 山口情報芸術センター

国内外からアーティストを招聘し、先駆的な作品を制作・発信して市民に優れた芸術文化にふれる機会を提供するとともに、学習支援事業に取り組み、地域の人材育成に寄与することを目指す。また、多様なジャンルをつなぐ参加型の交流・創造事業を中心に展開しセンター事業の定着を図る。

2 育成・支援事業

財団友の会会員へのサービス向上を図るとともに、組織の拡充に努める。

また、市民が日常的に文化に触れ、あるいは文化活動に取り組む機会の拡充を図るため、市民の自主的な文化活動に対し助成金を交付し、側面的に支援する事業を継続実施する。

(1) 友の会の組織化と運営

財団法人山口市文化振興財団友の会「Ars Nova Yamaguchi」(呼称：エニー)の会員について、既加入者の継続加入及び新規加入の促進を図る。

会員期間

入会日から翌年の入会月末まで

会員種別

種別	対象者	入会金(更新時には不要)	年会費
個人会員	個人	500円	1,500円

会員特典

- ・ チケットの先行予約及び割引購入
- ・ 情報誌（4・7・10・1月発行）及び催物案内（毎月末）の定期送付
- ・ 入会時及び更新時に YCAM シネマ及び中原中也記念館の招待券進呈
- ・ 協賛店での優待あり

会員数の推移（件数）

種 別	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
個人会員	1046	1173	837	871	1018	882
ファミリー会員	152	183	109	106	-	-
団体会員	10	3	3	4	-	-
学生会員	58	64	56	26	-	-
計	1266	1423	1005	1007	1018	882

（2） 市民文化活動支援事業助成金交付事業

営利を目的としない市内の個人及び団体等が行う文化事業に助成支援するため、平成9年度に創設した「財団法人山口市文化振興財団市民文化活動支援事業」を継続実施する。

また、市民に対し、情報誌や市報への掲載等による広報を行い、申請件数の増加を図る。

募集期間

平成21年3月1日～3月31日

助成金額

一事業につき50万円を上限

審査方法

審査委員会の設置、開催

申請及び採択件数の推移

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
申請件数	14	17	11	18	18	24
採択件数	12	12	8	15	16	18

3 調査研究事業

(1) 中原中也研究

関係資料の調査、収集、複製の製作等により、中原中也研究を推進する。

(2) 自主企画事業に関する調査及び研究

公演ごとのアンケート調査を随時行い、事業企画に対する市民ニーズ等の調査研究を進める。事業成果のまとめとしてドキュメント制作、展示・公演記録や、ワークショップパッケージ等のパブリシティに関わる作業を行う。

4 情報収集・提供事業

(1) 情報誌「any」の刊行

平成9年1月から刊行している情報誌を年4回(季刊)、継続刊行する。

(2) 山口市民会館催し物案内の発行

市民会館における催し物を紹介案内する広報紙を月1回、継続発行する。

(3) 中原中也記念館館報第15号の発行

活動記録、寄稿文等を掲載する館報を年1回、継続発行する。

(4) 中原中也研究第14号の刊行

研究論文、エッセイ、シンポジウム記録等を掲載する研究誌を年1回、継続刊行する。

(5) 山口情報芸術センター催し物案内の発行

山口情報芸術センターにおける催し物を紹介案内する広報物を継続的に発行する。

(6) ホームページの充実

財団及び山口情報芸術センター、中原中也記念館、山口市民会館のホームページにより、イベント情報を随時発信する。また、平成19年4月からは財団の主催・共催公演に関して、財団及び山口情報芸術センターのホームページからもチケット予約ができるシステムを整備、友の会への入会・更新もホームページ上から手続き可能となっている。

5 企画事業一覧

区分	事業名	開催時期	内 容
財 団 事 務 局	ラーメンズ第17回公演 「Tower」	5月16日(土)・ 17日(日) 山口情報芸術セン ター スタジオA	舞台上でコント作品を発表する男性2人組のユニット。小林賢太郎の言葉を巧みに使った演出・脚本は単なる笑いを超えた芸術性を持つ。さらに、個性豊かな片桐仁との舞台上での絶妙な間合いと言葉のかけひきが観客を引き込ませる。2005年に行われたYCAM公演ではチケットが完売御礼。追加公演をおこなう人気があった。ステージと客席が近いYCAMの舞台空間の特性を存分に味わってもらおう機会を提供。
	KOKAMI@netowork 「僕たちの好きだった革命」	6月29日(月) 山口市民会館 大ホール	人気劇作家・脚本家、鴻上尚史と、映画「トリック」「ケイゾク」などを手がける鬼才、堤幸彦がタッグを組んだ共同企画作品。2007年に初演され、演劇界に旋風を巻き起こした作品の再演となり、主演は中村雅俊が務める。より多くの市民に、地方ではなかなか見る機会の少ない上質の演劇作品を、生の舞台上で楽しんでもらう機会を提供する。
	東京都交響楽団コンサート	9月4日(金) 山口市民会館 大ホール	07年夏に行った東京都交響楽団によるコンサートを、今回は島根県石見芸術劇場との連携事業として行う。今回も連携館と、都響と当財団とで意見を交わしながら、それぞれの土地でしか味わえないような独自性のある内容で企画。2年前と同じように商店街やYCAMホワイエ等でフリーコンサートを行うイベントを、本番の前に2回実施予定。気軽にクラシックを楽しむ場や環境を、そして地方都市ではなかなか聴く機会の少ない大編成による迫力あるオーケストラコンサートを市民に提供する。
	ポップスコンサート	時期未定 山口市民会館 大ホール	人気音楽グループを招へいし、若年層をターゲットにしたコンサートを実施。いまの若者世代の表現や生き方を音楽を通じて、しかも生の舞台上で体験してもらおう機会を提供するとともに、これまで市民会館に足を運んだことのない客層にも市民会館および当財団の事業をアピールする機会としたい。
山 口 市 民 会 館	平成21年度松竹新派名作劇場 「女の一生」	7月15日(水)	森本薫の不朽の名作「女の一生」を明治から昭和を演じ続けて121年の歴史を誇る「新派」による公演。
	横山幸雄・森麻季デュオ コンサート(予定)	10月22日(木)	ソプラノ歌手・森麻季とピアニスト・横山幸雄による歌曲の名曲、オペラ・マリアとピアノ・ソロのコンサート。
	第22回おかあさんコーラス 演奏会	12月12日(土)	市内各地区で活動を続けているおかあさんコーラスグループが、日頃の練習成果を発表しあい、グループの技巧の向上と相互の親睦を図ることを主とした年に一度の交流演奏会。
	第14回ニューイヤーバ ンドフェスティバル 2010	平成22年 1月23日(土)	山口県吹奏楽連盟山口地区の小・中・高・大学・一般の加盟楽団による、新春恒例コンサート。
	第37回市民コンサート ～あの名演奏をもう一度～	平成22年 3月20日(土)	やまぐち市民文化の会が育ててきた手作りコンサート。毎年各地で行われる各種音楽コンクールで優秀な成績を収めた個人・団体等を、再度山口市民会館のステージにお迎えし、その演奏を披露いただくアンコールコンサート。

区分	事業名	開催時期	内容
中原中也記念館	第6回常設テーマ展 「哀悼の詩 愛するものが死んだ時には」	平成21年2月18日(水)～ 平成22年2月7日(日) 特別企画展期間中は除く	哀悼とは人の死を悼み哀しむことだが、中也の詩にとって、それはとても重要な意味を持っている。そもそも、彼の詩の多くには、失ってしまったものごとや過ぎ去ってしまった時を、とことんまで深く思うことで湧き上がる情感が見いだせる。哀悼の詩もその一例といえる。 私たちは生きていく中で、様々なかたちで他者の死と向き合う。中也も、7歳にして次弟の亜郎を亡くして以来、様々な人々の死に直面したが、彼は、他者の死がもたらす喪失感を、詩人として作品に昇華していく。それらの詩には、単に「哀しい」とか「寂しい」というだけでは決して表現し尽くせない、複雑な情感が織り込まれている。そして、私たちの心の奥底を揺り動かし、深い感銘を与える。この展示では、中也が身近な人々の死をどのように受け止め、そこから、どのような詩が生み出されたのかを中心に紹介する。
	特別企画展 「月光とメルヘン」	7月24日(金)～ 9月27日(日)	「一つのメルヘン」は中也の代表的な詩の一つである。メルヘンという言葉が使われている作品は、この詩と「誘蛾燈詠歌」の2篇のみであるが、中也の360篇あまりの詩の中には、メルヘン的な詩も多く見られる。メルヘンの歴史は古く、様々な意味が含まれている。現代においてメルヘンは、子どもが読むおとぎ話や、少女が好む綺麗な童話的世界を指す場合が多いが、もとはドイツ語で、現実を離れた想像の世界を表す言葉である。 中也の詩には 月の光 をモチーフとしているものが数十篇あるが、それらはメルヘン的な雰囲気や漂わせている。そして、それらは単にメルヘンという言葉では説明しきれないものを含んでいる。 今回の特別展示では、メルヘン的な詩と 月の光 というモチーフとの関係に焦点をあて、中也の詩の魅力を紹介する。
	企画展	年間 (約3ヶ月ごとに展示替え)	折々にテーマを設けて、中也の世界のさまざまな側面を紹介する企画展。 4/22～7/20 企画展 「第14回中原中也賞」 9/30～12/13 企画展 「湯田温泉物語」 12/16～H22.4/18 企画展 「収蔵資料展」
	講演会	第1回未定 第2回9月5日	テーマ展「哀悼の詩」に併せた講演、中原中也の会との共催の講演。
	中原中也を読む会	毎月第4金曜日	教育普及事業として学芸担当職員による中也詩を中心とした読書会を開催。
山口情報芸術センター	sound techtonics	#7は、4月29日(水祝) 年間2～3公演を予定	来年度来日又は国内でも先鋭的なサウンドアーティストを招聘し、YCAMの特徴である最先端の機器、技術を駆使した先鋭的なサウンドライブを開催する
	スティーブ・パクストン 「ファントム・エクジビジョン」	5月24日(日)～ 8月31日(月)	50～60年代のNYでのオルタナティブダンスムーブメントを代表する、世界的ダンサー、スティーブ・パクストン。青森・東京・京都・山口の公共文化施設が連動して企画。YCAMではインスタレーション&パクストン本人のデモンストレーション公演を行う。
	三上晴子「新作インスタレーション」展	2010年3月～5月(予定)	メディアアーティスト、三上晴子の日本初の大規模展覧会。3作品の展示を予定。新作インスタレーション2作品に併せて、2004年にYCAMで発表し、その後世界各国を巡った「gravicells」のバージョンアップ版を公開予定。

区分	事業名	開催時期	内容
山口情報芸術センター	長期展示作品シリーズ / scopic measure	4/25(土) ~ 8/10(月)	scopic measureはコンピュータメディアと人間の関係の多様性から生まれてくるアートの現状を、情報表現主義ととらえ、情報時代の先の文化を予感させていく長期展示作品シリーズ。これから期待される若手アーティストの作品やプロジェクトを、YCAMを舞台に順次紹介していく。
	「セミトラ展/Invisible Focus」(仮題)	9月中旬 ~ 12月	デザインからアートにいたるまで、ネットワークやプログラムなど、情報デザインに精通したグループ/セミトラによる個展。プリント上、web上、インスタレーションでも、表象的なアウトプットから観客に見えない部分であり、その見えない部分のデザイン意識や空間-時間感覚のセンスをどのように対象化できるかを問かける作品を2~3作品公開。
	YCAMパフォーマンスラウンジ#4「東野祥子(煙巻ヨーコ)パフォーマンス」	6月27日(土)	東野祥子は、劇場での作品上演以外でも「煙巻ヨーコ」の名前で、クラブなどで、DJ、ミュージックとのセッション的なダンスで評価を受けている振付家、ダンサーである。今回のラウンジ企画では、東野のクラブでの活動にフォーカスしたパフォーマンスを予定しており、コンテンポラリーダンスの持つ広がり、ダンスが持つコミュニケーションツールの側面を紹介する。
	「マレビトの会」滞在制作・公演	8月29日(土) ~ 30日(日)予定	劇作家・演出家である松田正隆が主宰する「マレビトの会」とYCAM Interlabが共同作業、制作する滞在制作演劇公演。松田は岸田國土戯曲賞、読売演劇大賞作品賞受賞など、90年代から現在まで日本を代表する劇作家であり、今回と滞在制作においても、現代におけるメディアと言葉・身体との関係をテーマに深く切り込んだ作品制作を目指す。また、国内、海外フェスティバル参加についても視野に入れた制作を行う。
	テレサ・ルドヴィコ「新作(アンデルセン「旅の道連れ」を元に)」	9月26日(土)	山口での演劇鑑賞を進める組織NPO法人「こどもステーション山口」と共催で、YCAMとして推薦できる子供向けプログラムの提案を行う。親しみやすいアンデルセン童話を下敷きとしながらも、イタリアのテアトロ・キズメットで演出と脚本を手がけるテレサ・ルドヴィコの新作を上演することで、いわゆる「子供向け演劇」を超えた作品を紹介する。
	Grupo de Rua (グループ・デ・ルア)「H3」	11月21日(土)	ブラジルの振付家ブルーノ・ベルトラオと様々なストリートダンサーで構成されるカンパニー「グループ・デ・ルア」の最新作「H3」の上演を行う。山口でも、ヒップホップに関心を寄せる観客は多く、親しみのある分野からYCAMを身近に感じてもらい、新たな表現が持つ柔軟性や、可能性、見ることの楽しさを感じてもらうことを目指す。
	演劇公演「阿部初美 新作公演」	12月20日(日)	地球温暖化や大気/放射能汚染など、人間をとりまく環境の変化がメディアで取り沙汰される現在、「地球環境と人間、自然と文明」というテーマを背景に、近未来の世界を想定し、仮想の未来からの視点で人間の存在や現代を問う演劇作品。
	YCAMパフォーマンスラウンジ#4「東野祥子(煙巻ヨーコ)関連ワークショップ」	6月20日(土) ~ 21日(日)	ダンス経験者を対象にしたワークショップと成果発表として同公演にも出演を依頼する。ワークショップでは様々な舞台のスタイルを経験する東野祥子の柔軟な思考や、彼女の特意とする即興で踊る身体の扱い方を探求する。また、その経験を基に、東野祥子の舞台に出演することで、通常の舞台にあるダンサーと観客の間にある垣根を取り払った新しいスタイルの舞台が生まれるきっかけを作る。

区分	事業名	開催時期	内 容
山口情報芸術センター	「松田正隆レクチャー」	6月6日(日)	消費することを目的とするエンターテインメント性を追及する舞台作品がある一方、確固とした問題提起やその芸術性を追及する前衛的の舞台作品がある。21年度に滞在制作を予定している、マレピトの会の松田正隆は、その前衛演劇を追及する演出家であり、彼のレクチャーを通して表現に表れる文学的な意味や言葉と扱い方など、より深い作品の理解を促すことを目的とする。
	教育普及オリジナルワークショップ 「検索ワークショップ」	2010年1月～2月 全6回予定	普段はコンピュータ内部の演算として実行されている「検索」の仕組みを、コンピュータ内ではない形(カードを選び出すなど)へ落とし込み、ゲームを通じて仕組みを理解する。また、その社会的影響力についても学べるような仕掛け作りを行う。
	夏休みワークショップ 「ケータイスパイ大作戦」	8月後半 全10回	夏休みの子どもたちに向けて、多くの参加人数が来られるワークショップを開催。今回は、YCAMオリジナルワークショップ「ケータイスパイ大作戦」。ワークショップを通して、体験しながらメディア社会でのルールやマナーについて学ぶ。
	オリジナルワークショップパッケージ「メディアエッセンス」冊子作成事業	通年	メディアに焦点をあてたオリジナリティーの高いワークショップパッケージ(ケータイ・スパイ・大作戦、modulobe、walking around surround、パスタ建築WS)を「YCAMメディアエッセンスワークショップシリーズ」として普及させ、これまでの活動の評価を行うことを目的として、冊子、カード、ドキュメントDVD等を作成、リリースする。
	オリジナルワークショップパッケージ「メディアエッセンス」出張ワークショップ事業	通年	これまで開発してきた、YCAMオリジナルワークショップパッケージ(ケータイ・スパイ・大作戦、modulobe、walking around surround、パスタ建築WS)を、出張ワークショップを実施。
	阿部初美演劇ワークショップ	2010年2月 予定	阿部初美(演出家)による演劇ワークショップ。演劇で「今」を表現するという点について、テキスト、身体、映像などの舞台上に乗せられたメディアから、縦横に内容を紹介していくワークショップ。
	インターラボ研究開発事業	通年	YCAMでの作品、ワークショップ、サインデザインの制作、また、それらを世界の他の会場で発表していくのに必要な技術力の向上と維持に必要な基礎研究と開発を行う企画。
	インターラボ研修生事業	通年	世界中から1人ないしは2人を半年もしくは1年間YCAMに研修生として呼び、共に研究、制作を行う企画。YCAMスタッフの価値観、思考の視野を広げること及び新たな人材発掘を目指す。
	YCAMシネマ (コミュニティシネマ山口)	通年	市民の皆さんから寄せられたリクエストを中心に、ミニシアター系作品や古い洋画・邦画など山口では上映される機会の少ない様々なジャンルの映画を上映。
	YCAMシネマ (Select CINE TECTONICS)	通年(年4回程度)	映画を芸術作品としてとらえ、世界の様々な地域の古典から新作まで、芸術史およびメディア史的視点から、意義のある映画作品を紹介するシリーズ。ドキュメンタリーも含んだ、普段山口では上映される機会がまれな様々な映画作品を、映画作家やテーマ別にセレクトして上映。
YCAMシネマ (夏の夜の星空上映会)	8月15日(土)	山口の夏の夜の風物詩になりつつある中央公園での野外上映会。	
文化庁優秀映画鑑賞推進事業「日本映画名作選」	9月予定	東京国立近代美術館フィルムセンターが所蔵する優れた日本映画を上映。	